

小規模企業景気動向調査

[平成29年8月期調査]

～業種によりばらつきがあるが、総じてほぼ横ばいの小規模企業景況～

2017年9月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…業種によりばらつきがあるが、総じてほぼ横ばいの小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と採算DIは不変、資金繰りDIはわずかに改善したものの、売上額DIは小幅に悪化した。業況DIについては、建設業が小幅改善を示したものの、小売業は小幅に悪化。サービス業がわずかに改善するも、製造業はわずかに悪化し、業種によりばらつきがみられ、まだら模様となった。経営指導員からは、全体的に建設業や観光業は堅調である一方で、地域によっては低温長雨の続く天候不順であったため、夏季需要や消費が低迷したとのコメントがあった。

<製造業> ◇…休暇返上で受注対応に追われる業種もあるが、人手不足や原材料高騰が慢性化する製造業…◇

製造業の業況DIは先月に比べわずかに悪化した。売上額DI、採算DIもわずかに悪化した。資金繰りDIは、ほぼ不変であった。自動車部品製造業では、受注量が増えたため、連休を短くしたり、交代勤務をしたり、稼働率を上げることでそれに対応しているとの報告がある一方で、人手不足が慢性化、かつ、原材料費高騰により、受注を受けても小ロット対応しかできず、売上額及び収益を上げにくいとの報告があった。

<建設業> ◇…他月と比べると公共工事の入札機会に恵まれるも、業者間競争で疲弊する建設業…◇

建設業の売上額DIは先月と比べ小幅に悪化した。採算DIと業況DIは小幅改善、資金繰りDIは大幅に改善した。公共工事については、地域により増減があるものの、減少傾向にあることを見据えて経費削減などの企業努力が図られているとの報告があった。民間工事については、新規着工は少なく、引き続きリフォーム関連で売上確保の動きがみられるが、受注単価の下落と人手不足や材料費高騰によるコストアップにより、利益はなかなか出せない状況が続いていることや、大手や地区外の企業が受注しているため、小規模企業は厳しい経営を強いられているとの報告があった。

<小売業> ◇…観光業関連の小売業以外は、購買人口減少や大型店との競合などにより厳しい状況が続く小売業…◇

小売業の業況DIと売上額DIは小幅に悪化したものの、採算DIはわずかに改善、資金繰りDIは不変であった。観光業関連の小売業では、観光客の増加に伴い、飲食料品を中心に売上増が見られたものの、それ以外の衣料品をはじめとした小売業では、管内地域の購買人口減少や大型店との競合などにより、引き続き厳しい状況におかれているとの報告があった。

<サービス業> ◇…観光関連産業が業況を牽引したが、他業種で売上額、採算を押し下げる結果となったサービス業…◇

サービス業の業況DIはわずかに改善し、資金繰りDIは不変であった。経営指導員からは、旅館・宿泊関連のサービス業は、観光需要の高まりを受けて好調、クリーニング業については、天候不順であったことで好況をもたらしているとの報告があった一方で、理美容業については依然として、顧客の高齢化、来店サイクルの長期化、低価格店舗との競争により売上は減少しているとのコメントが寄せられ、運輸業、運送業については、人手不足と燃料費の値上げ等により厳しい状態が続いているとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 10.0	▲ 12.8	▲ 2.8	▲ 6.1	▲ 7.9	▲ 1.8	▲ 1.0	▲ 5.0	▲ 4.0
採算	▲ 14.1	▲ 13.7	0.4	▲ 11.9	▲ 13.6	▲ 1.7	▲ 13.0	▲ 10.3	2.7
資金繰り	▲ 11.1	▲ 9.4	1.7	▲ 9.9	▲ 9.6	0.3	▲ 10.9	▲ 4.7	6.2
業況	▲ 14.3	▲ 13.9	0.4	▲ 11.1	▲ 11.6	▲ 0.5	▲ 10.5	▲ 6.1	4.4

業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 4.0	▲ 12.7	▲ 14.0	▲ 1.3
採算	▲ 21.6	▲ 20.4	1.2	▲ 9.8	▲ 10.5	▲ 0.7
資金繰り	▲ 15.9	▲ 15.6	0.3	▲ 8.0	▲ 7.6	0.4
業況	▲ 21.0	▲ 24.2	▲ 3.2	▲ 14.6	▲ 13.4	1.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(8月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・観光シーズンである夏休みに入った為に来村者が多くなった為、宿泊業と小売業の売り上げが先月より増加し
(福島県北塩原村商工会)

・観光地として繁忙期に入り、入域者が増加し全体的にも売上も増加しているが、企業格差が著しい。資金需要は落ち着いているが、金融機関も積極的な貸出を促している。

(栃木県那須町商工会)

観光業と建設業が牽引し南城市の景況感が良い。実際に設備投資や追加運転資金を目的とした融資案件も例年と比較し増加している。

(沖縄県南城市商工会)

・創業セミナーの受講者の様子から、小規模な創業希望者が多い。また、創業融資に関しても500万円以下であれば簡単な書類の作成と面接で借りることができる状況です。

(岐阜県高山西商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・お盆シーズンでとても混雑はしていたが、天候の影響もあって全体的な景況感は低調。観光・サービス関係者はよりその影響が如実に表れた。

(長野県信濃町商工会)

・景況状況は、小幅に改善していると感じてはいるが、このまま景況が大きく改善していくとは見込んでおらず、先行きは悪化することを予測している事業所が多い。金融機関の貸し出し状況は前月に引き続き上向きとなっている。個人消費は横ばい傾向が続いており消費が伸びない。

(兵庫県川西市商工会)

・観光客入込が、台風の影響により思うように伸びなかった。観光関連事業者も8月の売上が伸びず期待外れとなったとの声が多い。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・建設業は新幹線延伸工事により人手不足。

旅館業は中価格帯が宿泊者数減少、安価な旅館はやや増加。

金融機関の貸出態度は積極的だが、貸したい企業は借りたくなく、借りたい企業には貸したくない、様な傾向がある。

(石川県山中商工会)

・天候不順により、来店客数減少を訴える声が飲食店を主に多く聞かれた。消費者が駅中商業施設で購買を済ませるためか、街中への回遊が減少したようである。

(東京都国立市商工会)

・8月初旬の”やませ”(低温、日照不足)により典型的な冷夏となる。

水稲への影響も生じており、夏季の需要や消費は、停滞、低迷。特に小売、サービス業などは痛手となる。

(青森県外ヶ浜町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・今年いっばいの好況とはいえ、順調な様子。

人を増やしたいが、来年以降の見込みがないため、稼働率を上げることで凌いでいる。

(長野県信濃町商工会)

・食品関連の製造業は、中元時期での販促効果が出たため、売上が増加している。

(鹿児島県日置市商工会)

・自動車部品製造業は、例年8月は大型連休を取るが、今年は受注量が多く、連休を短くしたり、交代で出勤する企業もあった。

(静岡県新居町商工会)

・電子部品関連の製造業は、売上は伸び悩んでいるが、経費削減努力により資金繰りを改善している。量製造業は梅雨時期に降雨量が少なかった影響で量替えをする方が多く、売り上げが伸びた。

(福岡県糸島市商工会)

・地域の特産品であるホオズキの出荷量が、今年は過去最大規模のものとなっている。原因は、天候不順で他地域の生産量が落ち込んだためだが、東京や大阪を含め全国に出荷されている。

(大分県佐伯市番匠商工会)

・底引き船の操業が始まり、水産加工業については原魚の調達が安定し始めている。

事業所の一部で、引き合い増への対応のために首都圏での営業拠点設置等の動きがある。

建具製造業(組子)において、職人を目指している若年層の雇用が目立っている。

(島根県石中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・製造業全般について、小ロット受注のため、売上及び収益が上がりにくくなっている。

(奈良県平群町商工会)

・熟練工不足と材料費が高騰してきている。生産設備が老朽化して入替時期にきているができていない。

省力化に使用する部品受注が増加している。

(栃木県佐野市あそ商工会)

・和菓子関連の製造業は、お盆の特需以外は動きが少なかった。機械金属関連の製造業は、受注は増えているが、金融の条件変更により、当面ニューマネーが投入できない。

(兵庫県太子町商工会)

・金属関連の製造業は変わらず横ばい傾向が続いており、水産関連では不漁が長期化しています。干物などは原材料を輸入ものに切り替えた事業者も出始めました。今後もサンマなどの不漁も予想されているため原材料を輸入物に切り替える事業者は今後も増えると予想される。

(千葉県南房総市内房商工会)

・自動車部品関連の製造業は、受注は安定しているが慢性的な人員不足のため、求人費用を付け続けている

(群馬県中之条町商工会)

・えびせんべい製造業は、原材料(イカゲリ、澱粉)の不足・高騰の影響がみられる。水産食品加工業も原材料である魚介類の不漁や漁獲時期のずれなど不安定要素が多い。

また、スーパー向け、観光土産向けなどの流通経路の違いでも業況が左右される。

(愛知県豊浜商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・秋や、観光シーズンの安全確保の為に公共事業の増加により、総合建設業はやや上向き、一般建築業も地域の新規住宅着工の増加を受けて上向き傾向。

(山梨県河口湖商工会)

・建設業については公共工事が昨年度比で緩やかな減少傾向にあるため、売上等についても停滞気味であるが、経費削減により採算はよくなっている。

(山口県下関市商工会)

・時期的に公共工事の入札機会も多々あり、公共工事を中心に事業を営んでいる事業者は比較的安定。ただし、利益率は元請けでも中々改善しない状況。民間工事の建築業は順調である。

(京都府京丹後市商工会)

・管工事業は、得意先の元請けからの需要はまずまず。公共工事は少ないものの、現場の途切れはない様子。

(佐賀県嬉野市商工会)

・市内で、住宅リフォームに係る助成制度が開始されたことにより、短期的ではあるがリフォーム業者の売上が増加傾向にある。

(沖縄県うるま市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・住宅関連の建設業は災害公営住宅の整備等もひと段落したため、住宅の需要は翳りを見せており、リフォーム需要も低下傾向が続いており厳しい状況となっている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・2020年の建築基準法の改正等前にもということもあってか、新築～改修共に受注があるが、改修工事がやはり多いのが現状である。高齢の事業主は設計・建築・土木との分野でも苦しんでいる。若手の経営者でないと今の時代への対応は厳しい。

(長野県信濃町商工会)

・売り上げは増加したとしてもなかなか利益は出せない状況。これには人材不足や経費過多が原因。

(茨城県日立市十王商工会)

・土木請負関係の建設業は、地方の小規模事業者には仕事が少ないため、安価で仕事を受注し苦しい状況となっている。

(岐阜県高山西商工会)

・学校を中心に夏の公共工事の入札において、当市では最低落札価格の設定はあるものの、一般競争入札が主であり価額競争になりがちである。採算性を度外視した市外業者が低価額入札をする傾向が続いている。市内小規模建設事業者は、民間工事で挽回したいものの、個人需要好転の兆しは見られず、引き続き厳しい経営を強いられている。

(東京都国立市商工会)

・屋根工事関連の建設業は、瓦工事が減っており、板金の屋根工事の割合を増やし売り上げを確保しているが、慣れない作業で苦戦を強いられている。

(静岡県新居町商工会)

・個人からの受注が少しずつ増えつつある。土木工事関連は昨年同時期よりも受注が増加。九州豪雨の影響で重機関連の業者は、熊本復興工事よりも受注が多くなっているが、遠方により諸経費がかさみ資金繰りに苦慮している。

(福岡県糸島市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・観光シーズンである夏休みに入った為に来村者が多くなった為、小売業の売り上げが先月比より増加した。

(福島県北塩原村商工会)

・食品小売業については、大きな変化はない。土産品等は、主要な販売販路である「道の駅」の改変により微増。商品開発に対する事業者の取り組みもあって、全体的に微増である感がある。

(長野県信濃町商工会)

・衣料品関連の小売業は、寝苦しい日が続くため、心地よい寝具を求めて老舗専門店の来店客数アップ。耐久消費財関連の小売業は、家電の買い替えの動きはあるものの、これらの人々は大型量販店に流れてしまう。

(兵庫県太子町商工会)

・コンビニ関連の小売業は近隣の大型スーパーの影響で売上が落ち込みつつも、独自生産のパン販売が好評で集客は安定している。また、利益率の高いドリンク類や氷が気温の上昇によって平年より売上が増加。

(沖縄県与那原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・個人消費が依然として横ばい傾向にあるために売上高の伸びがにぶいまままで推移している。暑さが続いている関係で、飲料関連も含めて大型店では伸びているが、小規模店では伸びが見られない。食品の売上げも大きな伸びはないが、全体としては鈍い伸びで推移した。暑さが続きコンビニなどでは、冷蔵品を中心に売上が前年以上に伸びた。ネット通販での商品購入も増えているため、店頭での商品購入をせよという対策が課題となっている。

(兵庫県川西市商工会)

・衣料品分野において売上が減少の傾向にある。高齢者が多く、顧客の減少が続き、新規顧客の見通しが無い。事業主も高齢化で廃業した店舗も出た。

(栃木県小山市美田商工会)

・食料品関連の小売業は、客単価が低くなってきている。また、お盆だからといって特別な買い物をする人は少なくなっている。衣料品関連の小売業は、安いだけでは売れない、欲しいものしか買わない。大手スーパーや量販店の影響が大きく厳しい状況が続いている。

(和歌山県串本町商工会)

・お客様の高齢化が目立つ。最寄品の売れ行きに大きな変化はないが、買回り品は若干停滞している。婦人衣料店より、メーカーが定番ものに偏重し納得した仕入れができないという声をいただいている。

(石川県鶴来商工会)

・文房具関連の小売業は、人口減少と共に市場の縮小や購買人口の減少に伴い、各メーカーや問屋の営業拠点についても淘汰され、小売店と問屋間における情報等の共有も薄れがちになっている状況にある。

(愛媛県長浜町商工会)

・食料品小売業では、長雨の影響等で野菜の高騰及び、果実の糖度が低くなってしまっているため、消費者の購買意欲が失われているのか、売り上げも低迷している。

(長野県飯綱町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・飲食業において、付加価値を付けることで、客単価を上げやすくなってきており、利益率の改善がみられる事業所もある。

(埼玉県宮代町商工会)

・旅館関連のサービス業は観光需要の高まりを受け好調。市内の大型宿泊施設では増築が行われ、会員の中には新たに民泊事業を展開する事業所が見られるなど市場は拡大傾向にある。

(沖縄県南城市商工会)

・天候が不順であったため、洗濯業は好調であったが、宿泊業や飲食業では業績は良いものの波があった。

(富山県富山市北商工会)

・宿泊・レンタカー・ガイド業等の観光関連のサービス業は、LCC(バニラ・エア)関西便就航や鹿児島からのジェット機導入もあり、観光客が増加しており、昨年より需要は確実に増えている。

(鹿児島県あまみ商工会)

・引き続きマリレジャー関連は好調である。また、今年度は台風も少ない事も好影響となっている。

(沖縄県うるま市商工会)

・観光関連のサービス業は、この地域は比較的天気は恵まれたため、まずまずの出があった。

地域住民向けサービス業は、小売業と同様に消費縮小の景況がみられる。

(愛知県豊浜商工会)

・ホテル旅館の稼働として、夏場としてはまずまずの動き。前年と比較しても若干増加傾向と感じ取れた。

(佐賀県嬉野市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・旅館等は鮮魚の仕入れ価格高騰のため資金繰り悪化の状況にある。

(島根県まつえ北商工会)

・当地域の宿泊関連のサービス業は、宿泊需要が低迷し利用客減少に歯止めが止まらない状況にある。売上、採算についても年々悪化している。

(山口県下関市商工会)

・旅館・宿泊関連のサービス業について、宿泊に関しては例年通りであったが、宴会に関して会社・個人共に安く済ませる傾向がある為、ホテルで宴会を行う人が減少している。

・理容関連サービス業では、当地区の人口減少の為、売上が減少傾向である。また、経営者の高齢化と後継者不足等も深刻な問題となっている。

(茨城県銚田市商工会)

・旅館関連のサービス業は、国内旅行需要は、客単価の低下が続き、大規模旅館の値下げにより、厳しい状況が続く中で、8月の特日により、売上高を維持。今後の、対策が必要である。

・洗濯関連のサービス業は、8月は、宿泊施設の繁忙期で、例年並みに推移。

・理美容関連のサービス業は、理容市場は、顧客の高齢化、来店サイクルの長期化、低価格サロンチェーンの進出により、固定客が年々減少している店舗が増えている。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

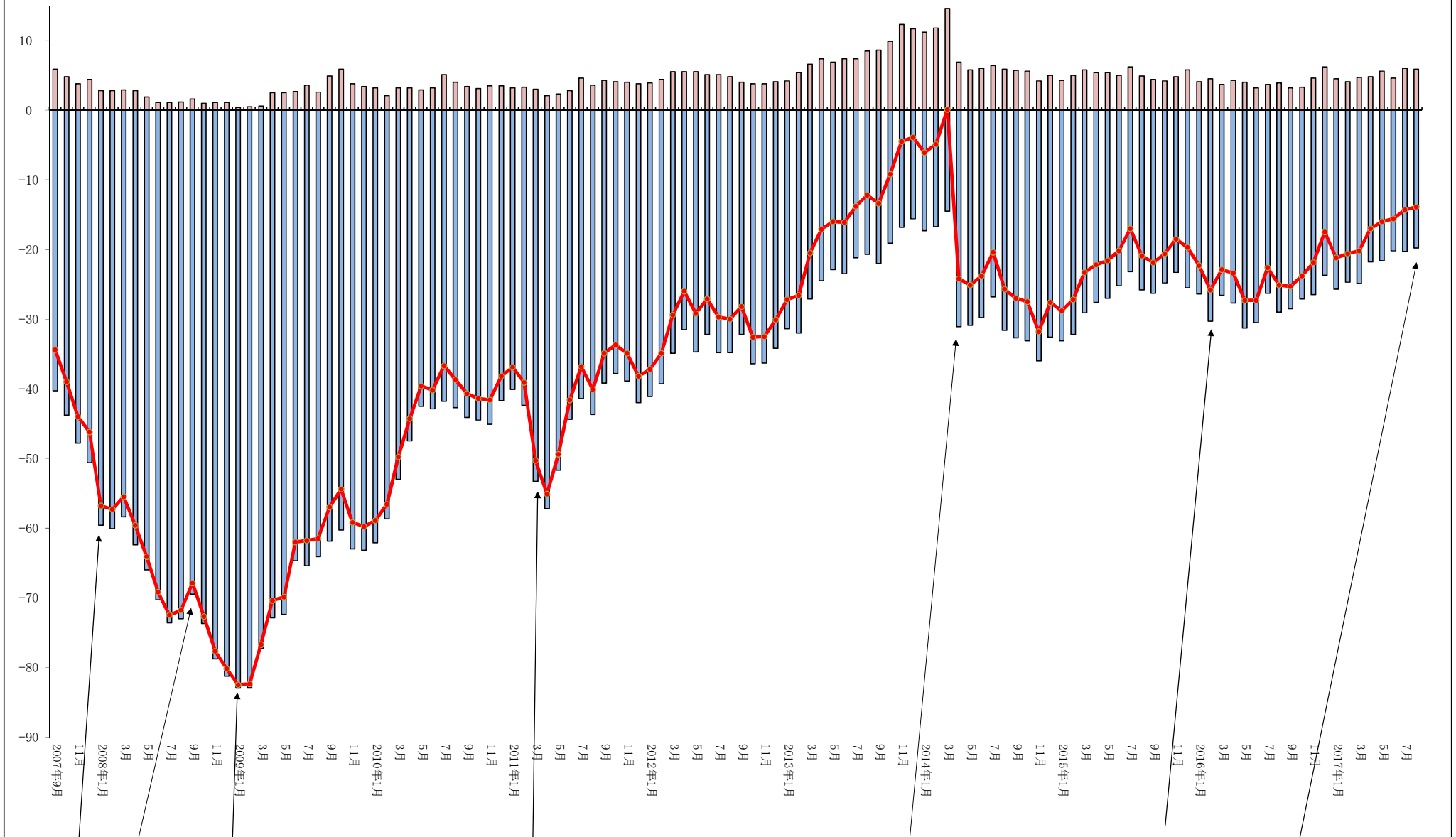
・運送関係は、人手不足と経費の増加で、厳しい状況にある。飲食業は、依然、材料費も上昇し、収益を圧迫している。

(香川県さぬき市商工会)

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

17年/8月
-13.9